

## 式辞

iPhone を生み出した Apple のスティーブ・ジョブズは、次のような言葉を残しています。

「他人の意見で

自分の本当の心の声を消してはならない。

自分の直感を信じる勇気を持ちなさい」

皆さんは、大分高専を選び、今、ここにいます。

本校は、創造性と実践力を備えた技術者を育みます。

人をしあわせにし、社会を豊かにする技術者への道を選択した新入生の皆さんに、心から敬意を表します。

皆さんにとって、大分高専は最適なチャレンジの場です。

今日から共に学ぶこととなる新入生の皆さんの入学を、大分高専教職員一同、心からお祝いします。おめでとうございます。

本科新入生 160 名、第 3 学年編入生 3 名、本科を卒業し専攻科入学された 27 名の皆さんは、ここ大分高専で「人間性に溢れ国際感覚を備え、探究心、創造性、表現力を有する技術者」となるべく、自らの足で歩むこととなります。

皆さんを支え導く教員も、常に励んでいます。

昨年度に本校教員が獲得した外部資金は、1 億円を超えました。これは全国高専でも屈指の成果です。

地域や社会の課題の解決に向け、企業と共同したり、新たな視点で実験に取り組んだり、本校教員は全国高専でも指折りの研究者集団でもあるのです。

このように皆さんを育む教員は、同時に研究者として皆さんを導きます。

「人間性に溢れ国際感覚を備え、探究心、創造性、表現力を有する技術者」となる決意は、固まっていますか。

決められたルールにのり、言われたことを言われたように覚えるだけの学習は、本校にはありません。知識を糧として組み合わせ、社会の課題のために新たな発想でチャレンジする高専生であってほしいのです。

中学までの学びとはステージの異なる深い学びがここに 있습니다。言われたことをするのは当たり前、皆さんはその先へと進んでください。学んだことを自分で説明できるようになることが高専学習の第一歩です。

そのように学び続ける皆さんを、企業や大学が待っています。昨年度の求人倍率は約 30 倍でした。また、専攻科を選んだり、国立大学などの 3 年次へと編入学したりとさらに学びを深める学生もいます。

皆さんへの社会の期待はとても大きいのです。

その社会では、「生きる力」が求められています。2020年に文部科学省は、その生きる力の説明として、次の三つを示しています。

一つ。基礎・基本を確実に身につけ、変化する社会において自ら課題を見つけ、学び、考え、判断し、行動し、問題を解決するための資質・能力を得る

二つ。自律を身につけ、他者と協調し合い、思いやる心をはじめとする「豊かな人間性」を得る

三つ。たくましく生きるための体力や健康などを得る

そう、その学びはずっと前からここ大分高専にあるのです。

本校の教育が目的とする「人間性に溢れ国際感覚を備え、探究心、創造性、表現力を有する技術者」として、ここ大分を、日本を、そして世界を、皆さんの手で、もっと楽しく豊かなものへと変えて行くことを強く願います。

皆さんには、社会を幸せにできる技術者に、なっていただきたい。

本校は学習・教育目標の第一に、「愛の精神」を掲げています。

まずは、身近な人を慈しんでください。自分と違う感じ方考え方を大切にし、切磋琢磨しながら高めあうことが大切です。

新入生の皆さん。人を愛し、社会を愛しましょう。そして、皆さん自身を、皆さんの未来を慈しみましょう。あなたの「愛と慈しみ」は、必ずや世界の平和と幸せ、地球の持続可能な未来へとつながるはずです。

保護者の皆さまに、あらためてお祝い申し上げます。私の息子も高専を卒業し、今は電力会社に務めています。ふりかえれば、高専には学生のことを思い、ともに成長しようとする教職員がいます。

皆さんのお子さんは必ずや、人を愛し、社会を愛する技術者となるものと信じています。ただ、その過程では、時に躓き、時に誤ることもあるでしょう。私たち教職員は、保護者の皆さまとともに、学生により添い、支え、導いて行きたいと思えます。どうぞ本校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

新入生の皆さんの楽しい学生生活と、輝かしい未来を心から願い、式辞といたします。皆さんのこれからは、笑顔とやりがいで溢れるものとなりますように。

令和7年4月4日

独立行政法人国立高等専門学校機構

大分工業高等専門学校長 坪井泰士